

- I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画（骨子素案）」作成の経過について
- II 計画策定の考え方について
- III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査（抜粋）」について
- IV 現地意見交換会「ワーククラウド分析結果（抜粋）」について
- V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果（抜粋）について
- VI （仮）基本理念について

I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画(骨子素案)」作成の経過について

II 計画策定の考え方について

III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査(抜粋)」について

IV 現地意見交換会「ワードクラウド分析結果(抜粋)」について

V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果(抜粋)について

VI (仮)基本理念について

次期「滋賀県農業・水産業基本計画」(骨子素案)の作成経過について

12～4月
(部内チーム会議)

農政水産部 計画策定チーム会議（5回）

「社会情勢の変化等の現状調査」および「とりまとめの方向性（案）作成」について

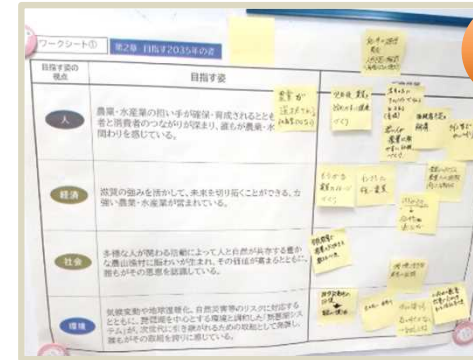
5～6月
(現地意見交換会)

県内6地域（大津・南部、甲賀、東近江、湖東、湖北、高島）で「現地意見交換会」を実施（**92名参加**）
(内容：「とりまとめの方向性（案）」について（目指す2035年の姿、政策の方向性等）

意見
交換会



参加者
の意見



6月
(アンケート調査)

- ・生産者・消費者・流通事業者を対象としたアンケート調査を実施
- ・県立農業系高校（対象：**県内4高校1,197名**）、農業大学校（**61名**）を対象にしたアンケート調査を実施

6～7月
(現地意見交換会分析等)

- ・県内地域別意見交換会の意見（**合計729の意見**）を「ワードクラウド分析」を実施
- ・農政水産部 計画策定チーム会議にて意見交換会、分析結果等をもとに「基本理念（案）」を作成

6～8月
(関係機関意見交換)

- ・滋賀県農業会議（6/19） ・滋賀県畜産振興協会（6/27） ・滋賀県土地改良事業団体連合会（7/19）
- ・滋賀県指導農業士会（7/23） ・滋賀県青年農業者クラブ連絡協議会（7/24） ・滋賀県漁業協同組合連合会（8/26）

7月25日
(第1回審議会)

- ・県が整理した「とりまとめの方向性（案）」について審議会にて審議、「（仮）基本理念」として決定

8～9月
(骨子素案論議)

- ・第1回審議会の意見等を踏まえて「骨子素案」（案）を庁議

10月
(常任委員会)

- ・環境・農水常任委員会において「骨子素案」（案）を協議

I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画(骨子素案)」作成の経過について

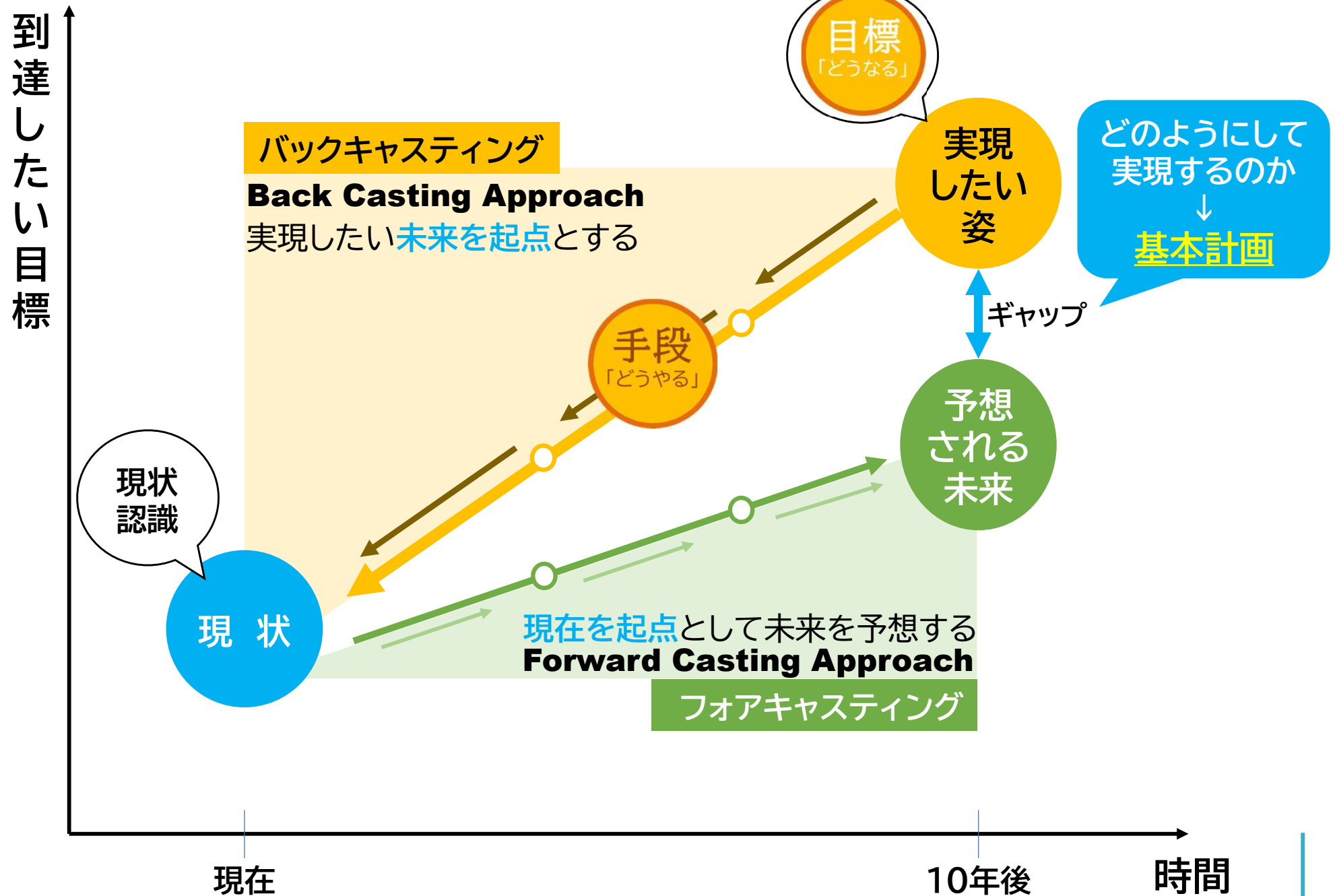
II 計画策定の考え方について

III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査(抜粋)」について

IV 現地意見交換会「ワードクラウド分析結果(抜粋)」について

V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果(抜粋)について

VI (仮)基本理念について



- I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画(骨子素案)」作成の経過について
- II 計画策定の考え方について
- III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査(抜粋)」について
- IV 現地意見交換会「ワードクラウド分析結果(抜粋)」について
- V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果(抜粋)について
- VI (仮)基本理念について

現計画策定以降、新たにまたは顕在化した社会情勢の変化

共通
視点
人

有効求人倍率の上昇

EC市場の拡大
CtoC、BtoB取引の増加
ソーシャルメディアマーケティングの
拡大
食品価格の高騰
観光客・外国人の増加
農泊の拡大
輸入資材・食料の入手困難化

視点
社会

テレワークの拡大

移住願望の高まり

モノ重視消費からコト・トキ重視消費へ
の移行
世界の食糧需要の増加

生産資材・輸入食料の入手困難化

視点
環境

海外の農産物生産の不安定化
獣害の種類や生育環境の変化
琵琶湖の水質変化

減農薬・減化学肥料・脱プラへの要求
増加視点
経済

最低賃金の上昇

法人化・雇用増による保険料負担の
増加
農業人材派遣・アルバイト数の増加
防除請負経営体の増加

スマート農機の普及

農業資材・肥料の高騰

物流コストの上昇

穀物の国際価格の上昇傾向

輸入資材・食料の入手困難化

電気料金の高騰

食品価格の高騰

低価格な食料の需要増加

観光客の増加

訪日外国人の増加

地域外への農地拡大意向の増加

スマート農業技術の進展

サービス事業体数(JA出資法人)と

作業面積の推移

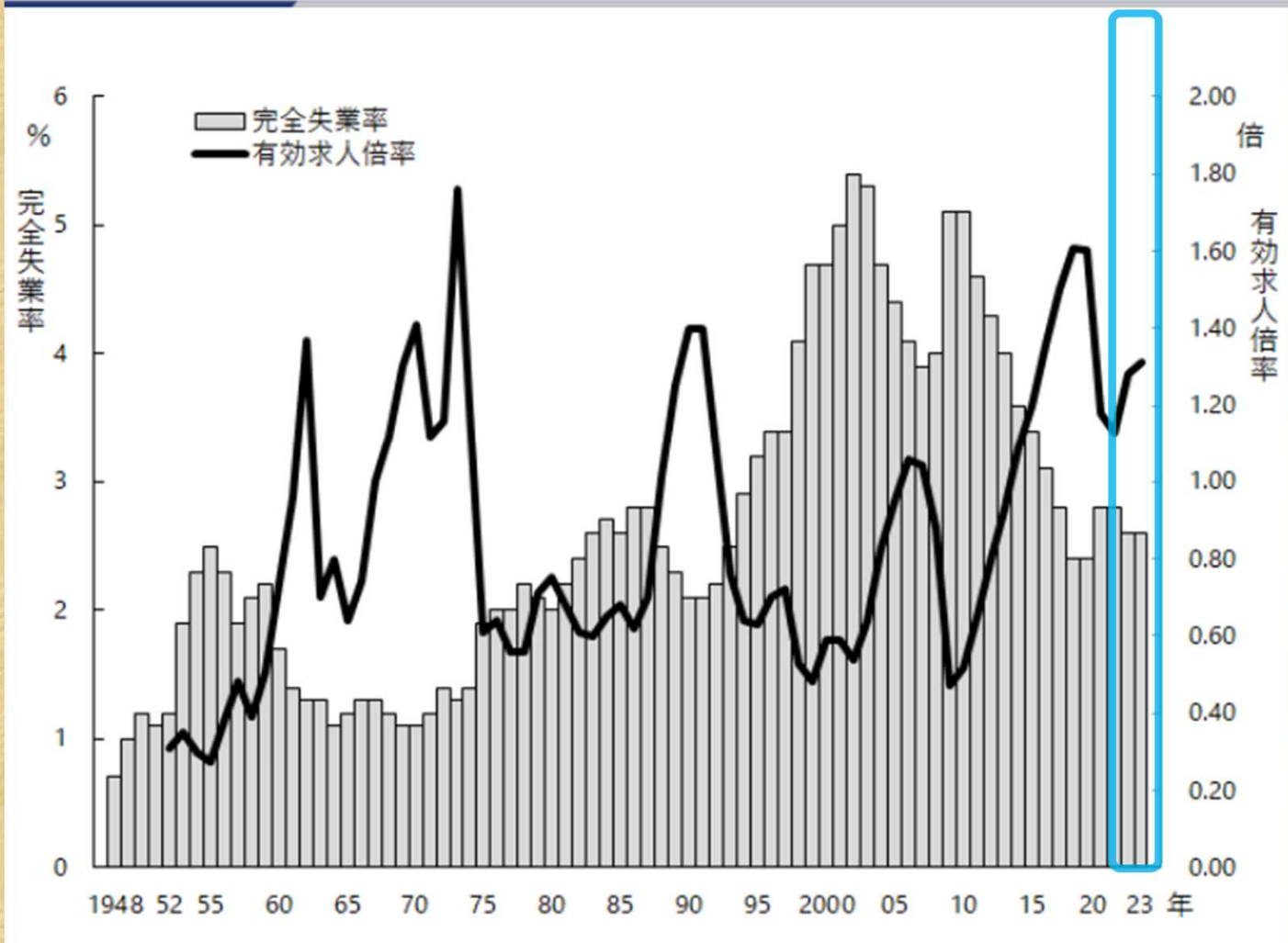
農産物直売所の減少・大型化

経済的理由により十分な食料を入
手できない人の増加

人

農業経営体の雇用の変化 ～有効求人倍率の上昇～

図1 完全失業率、有効求人倍率 1948年～2023年 年平均



出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構（2024年4月19日更新）

2023_2024 滋賀県農業・水産業基本計画策定チーム

経済

農業経営体の雇用の変化 ～最低賃金の上昇～

区分 年度	時間額 (円)	引上額 (円)	引上率 (%)	発効日	備考
平成14年度	651	0	0.00	—	改正なし
平成15年度	651	0	0.00	—	改正なし
平成16年度	652	1	0.15	H16.10.1	
平成17年度	657	5	0.77	H17.10.1	
平成18年度	662	5	0.76	H18.10.1	
平成19年度	677	15	2.27	H19.10.25	
平成20年度	691	14	2.07	H20.10.18	
平成21年度	693	2	0.29	H21.10.1	
平成22年度	706	13	1.88	H22.10.21	
平成23年度	709	3	0.42	H23.10.20	
平成24年度	716	7	0.99	H24.10.6	
平成25年度	730	14	1.96	H25.10.25	
平成26年度	746	16	2.19	H26.10.9	
平成27年度	764	18	2.41	H27.10.8	
平成28年度	788	24	3.14	H28.10.6	
平成29年度	813	25	3.17	H29.10.5	
平成30年度	839	26	3.20	H30.10.1	
令和元年度	866	27	3.22	R1.10.3	
令和2年度	868	2	0.23	R2.10.1	
令和3年度	896	28	3.23	R3.10.1	
令和4年度	927	31	3.46	R4.10.6	
令和5年度	967	40	4.31	R5.10.1	

厚生労働省 滋賀県最低賃金改定状況一覧（年度別推移）

経済 物価の高騰 ～農業資材の高騰～

主な農業生産資材の月別価格指数の推移（直近3年間）（令和2年＝100）

図1 農産物価格指数（令和2年＝100）

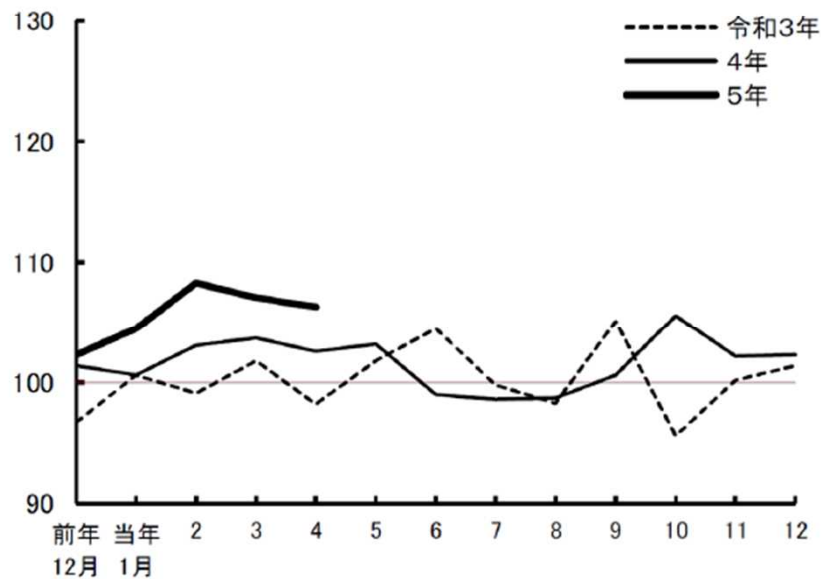
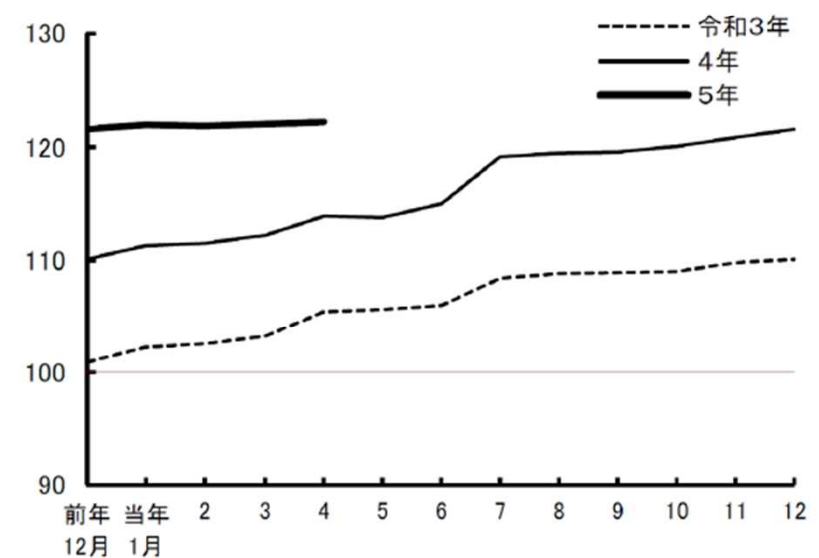


図2 農業生産資材価格指数（令和2年＝100）



出典：農林水産省（農業物価指数（令和5年4月）－令和2年基準－）

2023_2024 滋賀県農業・水産業基本計画策定チーム

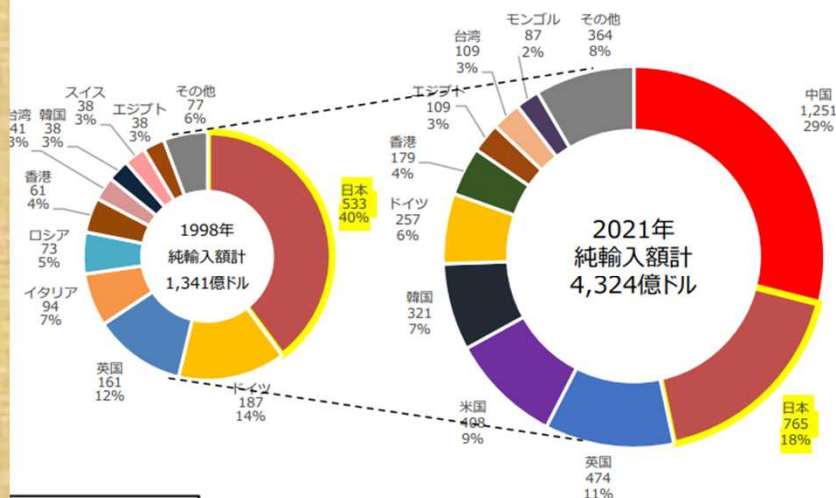
経済

国際的な生産・消費動向の変化 ～輸入資材・食料の入手困難化①～

2-5-2. 食料輸入をめぐる情勢の変化（我が国のプライスメイカー的な地位の低下）

- 1998年当時、日本は世界1位の農林水産物の純輸入国であり、プライスメイカー的な地位であったが、近年はその地位が低下。現在は中国が最大の純輸入国となっている。
- 20年前は、食料自給率は低くとも諸外国から購入できていたが、近年、中国が輸入を増やし、プライスメイカー的な地位になりつつある中、日本がそれに左右されることとなる可能性。

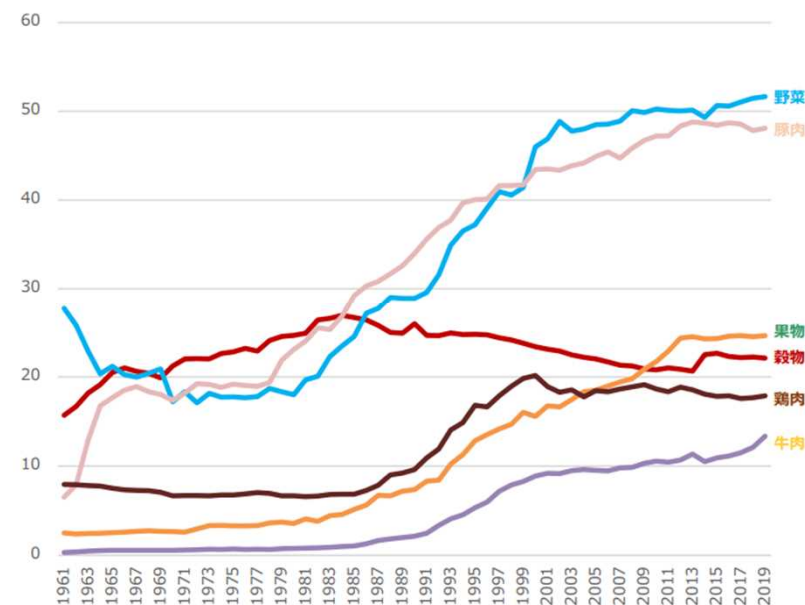
○ 農林水産物純輸入額の国別割合



<凡例>
国名
純輸入額 (億ドル)
シェア (%)

資料：「Global Trade Atlas」を基に農林水産省作成
注：経済規模とデータ制約を考慮して対象とした41か国のうち、純輸入額（輸入額-輸出額）がプラスとなった国の純輸入額から作成。

○ 世界の食料消費量に占める中国の割合



資料：「FAOSTAT」

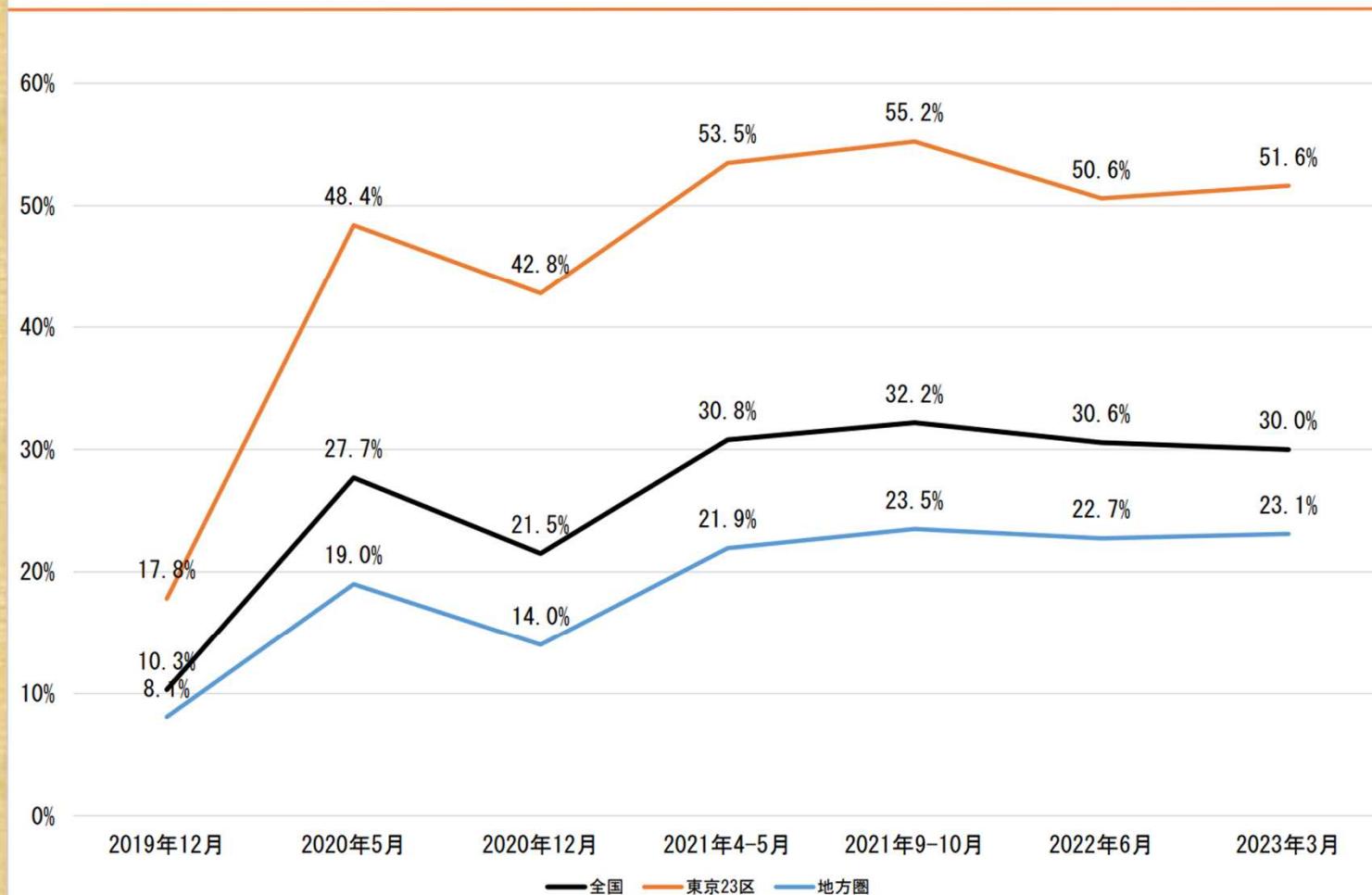
出典：農林水産省（令和5年8月 食品産業をめぐる情勢）

2023_2024 滋賀県農業・水産業基本計画策定チーム

社会

労働環境の変化 ～テレワークの定着①～

【1. 働き方】地域別のテレワーク実施率※（就業者）



※働き方に関する問に対し、「テレワーク（ほぼ100%）」、「テレワーク中心（50%以上）で定期的にテレワークを併用」、「出勤中心（50%以上）で定期的にテレワークを併用」、「基本的に出勤だが不定期にテレワークを利用」のいずれかに回答した人の割合

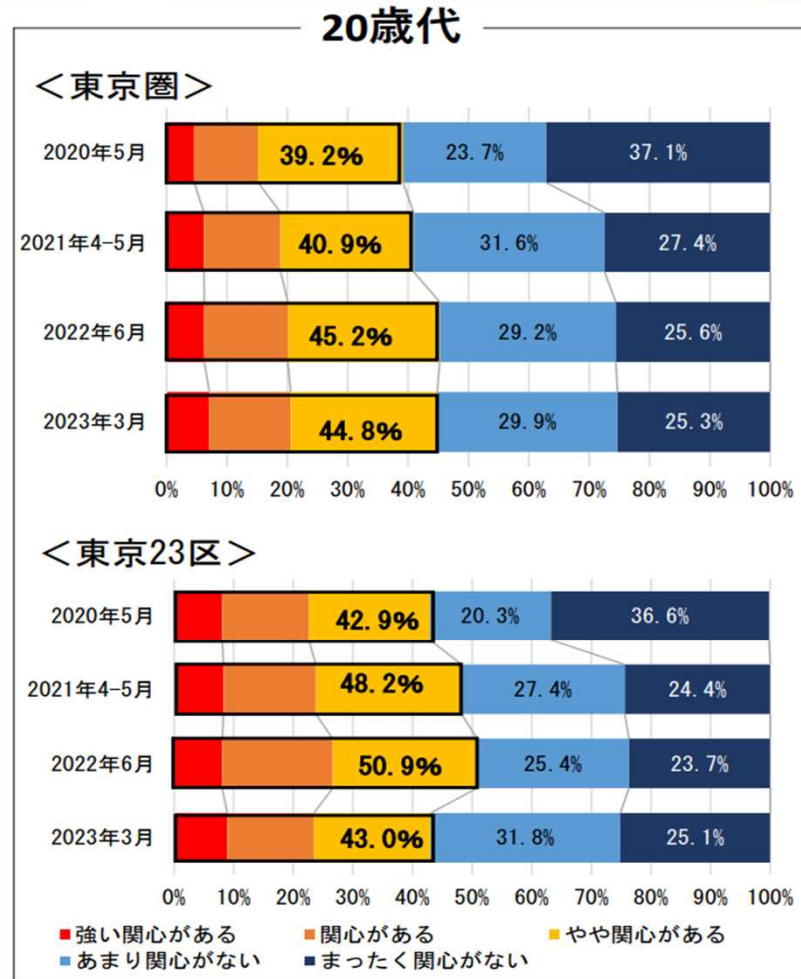
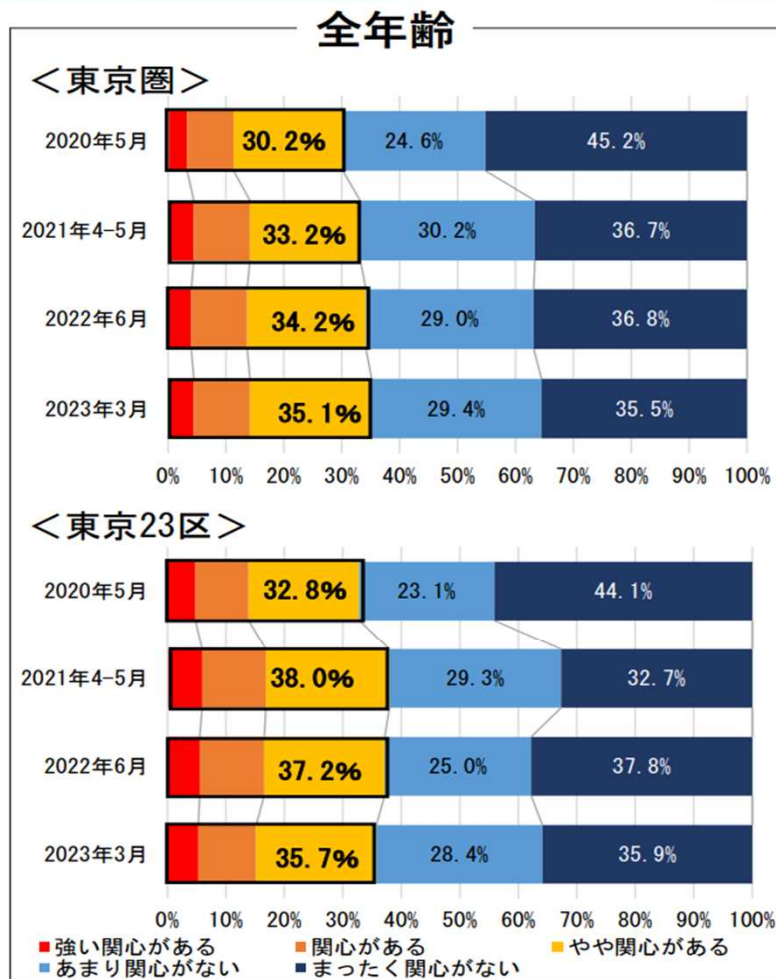
4

出典：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和5年4月19日）

社会

住環境の変化 ～移住願望の高まり～

【3. 地方】地方移住への関心（東京圏在住者）



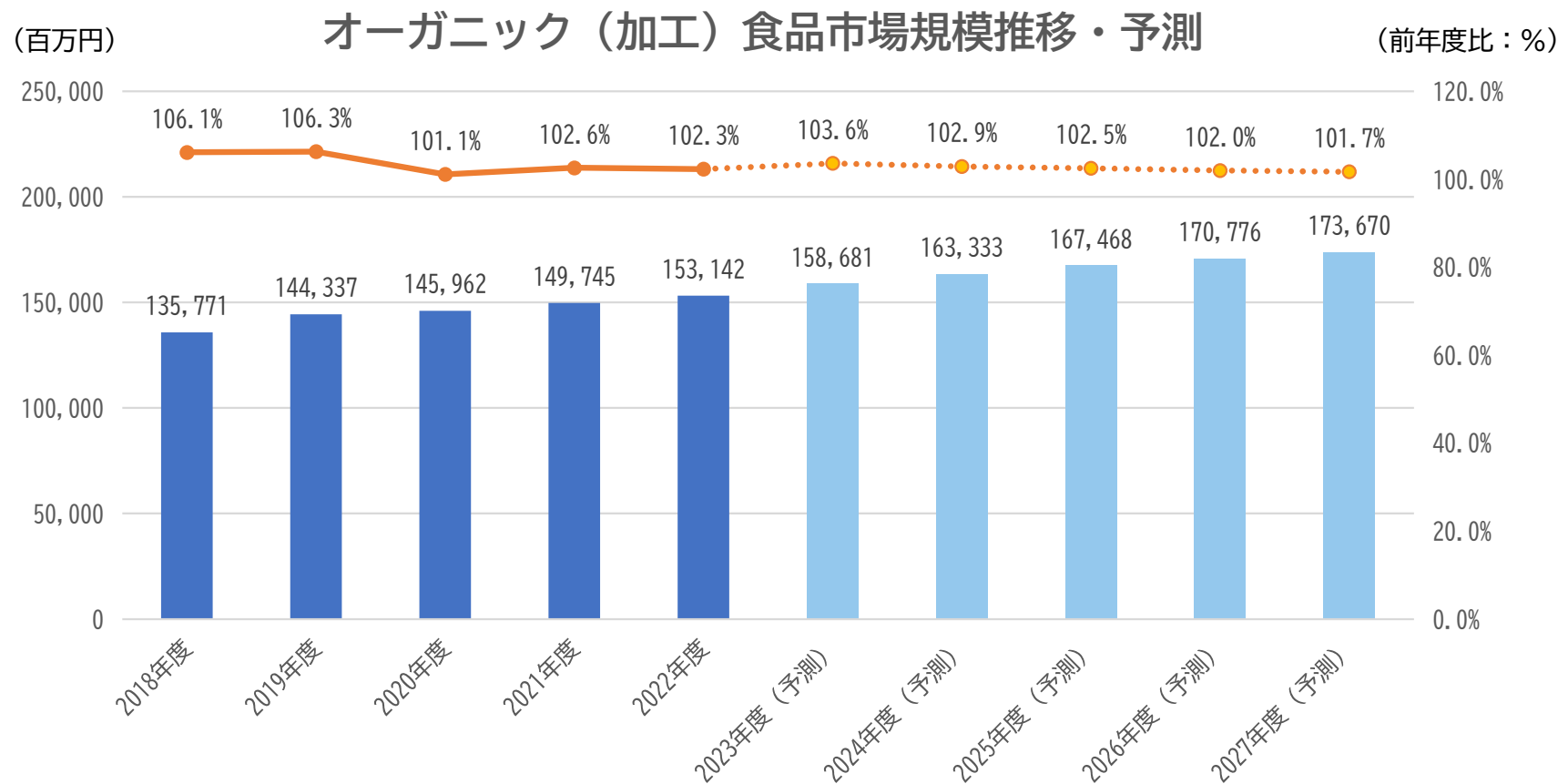
23

出典：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和5年4月19日）

2023_2024 滋賀県農業・水産業基本計画策定チーム

環境

食の変化 ～オーガニックの需要～



注1. 小売金額ベース

注2. 農林水産省の有機JAS認証またはそれと同等の諸外国のオーガニック認証を取得した食品を対象とし、加工食品の市場規模を算出した。農産物や畜産物は含まない。

注3. 2023年度以降は予測値

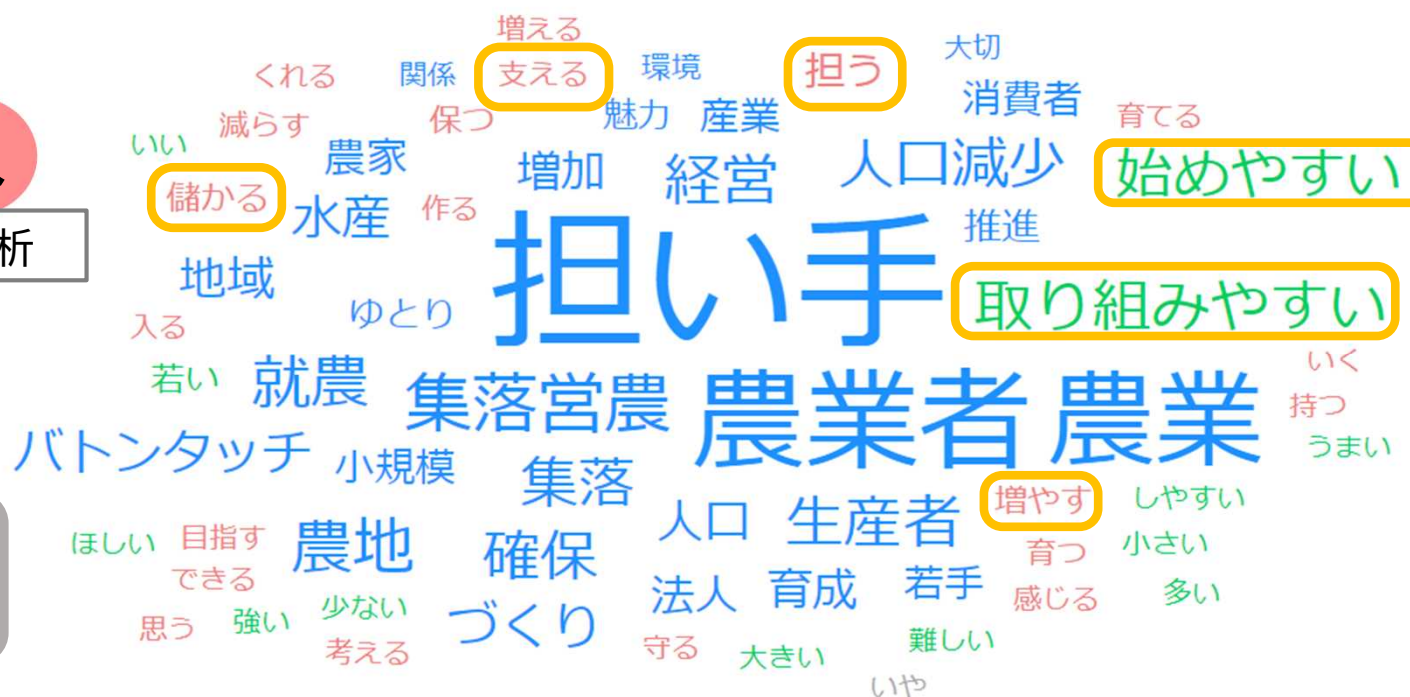
出典 株式会社矢野経済研究所「オーガニック・自然派食品の市場調査（2023年）」（2023年9月7日発表）

2023_2024 滋賀県農業・水産業基本計画策定チーム

- I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画(骨子素案)」作成の経過について
- II 計画策定の考え方について
- III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査(抜粋)」について
- IV 現地意見交換会「ワードクラウド分析結果(抜粋)」について
- V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果(抜粋)について
- VI (仮)基本理念について

視点：人

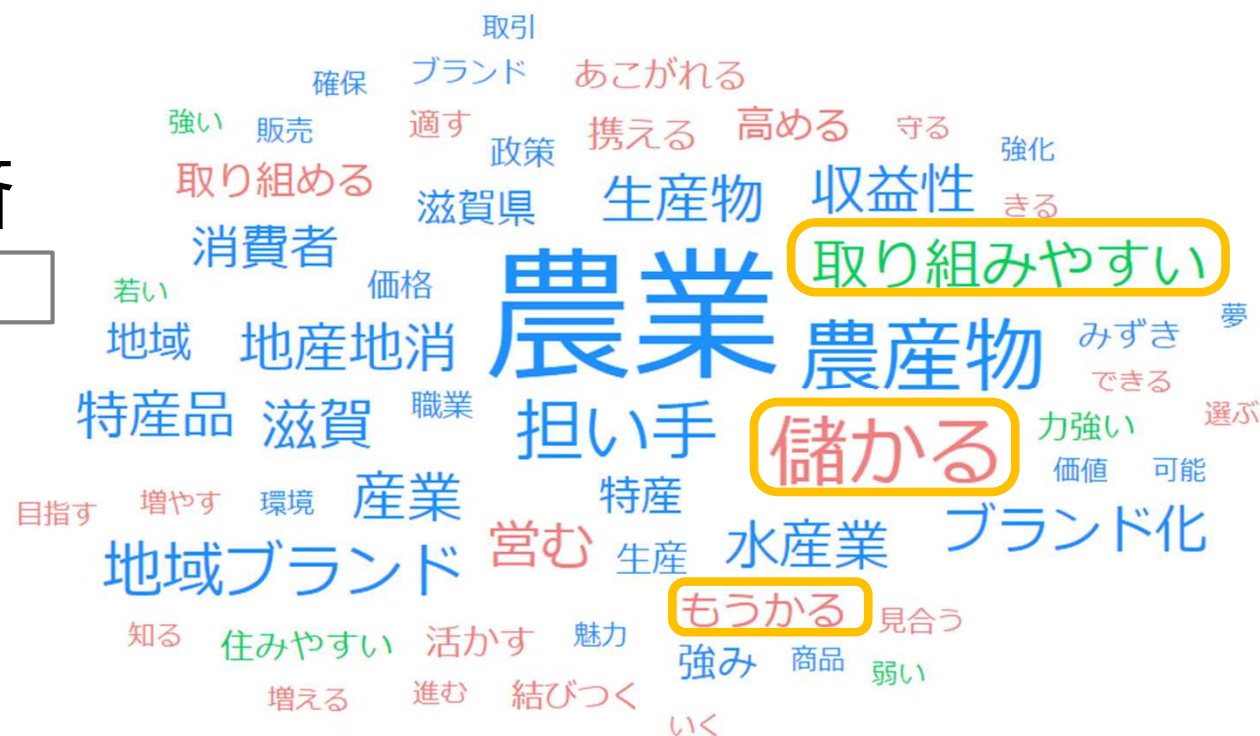
値が高い
= 重要な言葉



■ 名詞			■ 動詞			■ 形容詞		
	スコア	出現頻度		スコア	出現頻度		スコア	出現頻度
農業	98.22	29	できる	0.05	6	若い	0.75	6
担い手	180.25	25	いく	0.05	5	少ない	0.05	2
確保	10.61	15	増やす	0.48	4	取り組みやすい	4.89	1
地域	6.20	11	感じる	0.09	4	始めやすい	3.12	1
農業者	109.67	10	作る	0.05	4	しやすい	0.07	1
経営	9.94	9	考える	0.03	3	小さい	0.02	1
育成	5.41	9	担う	1.26	2	大きい	0.01	1
魅力	2.34	8	儲かる	0.82	2	うまい	0.01	1
人口	6.47	7	保つ	0.42	2	難しい	0.01	1
づくり	7.29	5	支える	0.31	2	強い	0.00	1
増加	5.01	5	減らす	0.25	2	ほしい	0.00	1
若手	3.81	5	育つ	0.24	2	多い	0.00	1
環境	0.60	5	育てる	0.14	2	いい	0.00	1
関係	0.21	5	守る	0.11	2			
農地	16.80	4	目指す	0.10	2			

目指す姿 視点:経済

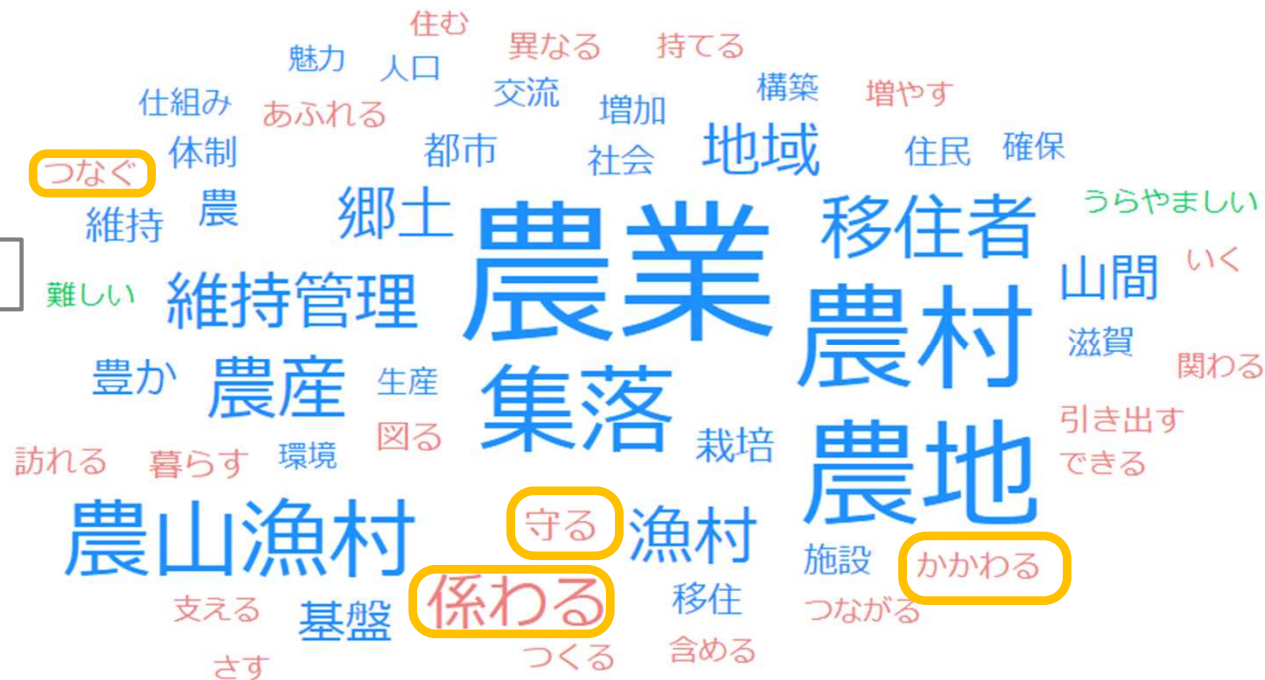
ワードクラウド分析



■ 名詞	スコア	出現頻度	■ 動詞	スコア	出現頻度	■ 形容詞	スコア	出現頻度
農業	98.22	29	できる	0.15	11	力強い	0.81	2
地域	6.20	11	儲かる	11.79	9	強い	0.02	2
滋賀	12.96	9	高める	1.65	3	取り組みやすい	4.89	1
農産物	37.50	7	活かす	1.42	3	住みやすい	1.09	1
産業	11.84	6	きる	0.30	3	若い	0.02	1
生産	3.91	6	守る	0.25	3	弱い	0.02	1
価格	2.46	6	営む	3.55	2	---	---	---
販売	1.41	6	増やす	0.12	2			
担い手	24.63	5	目指す	0.10	2			
消費者	9.18	5	進む	0.08	2			
強み	5.57	5	選ぶ	0.04	2			
環境	0.60	5	増える	0.03	2			
政策	2.79	4	知る	0.01	2			
職業	1.91	4	いく	0.01	2			
ブランド	1.15	4	もうかる	2.10	1			

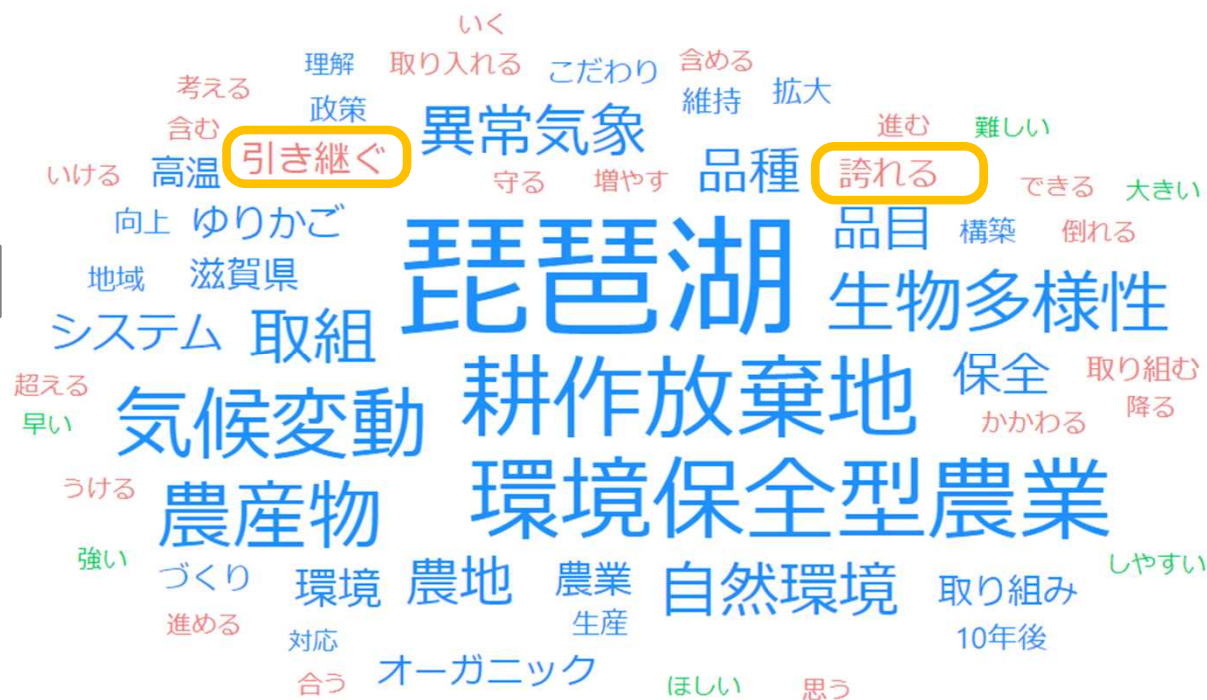
目指す姿 視点:社会

ワードクラウド分析



■ 名詞	スコア	出現頻度	■ 動詞	スコア	出現頻度	■ 形容詞	スコア	出現頻度
農業	42.19	16	できる	0.05	6	うらやましい	0.09	1
地域	6.20	11	守る	0.68	5	難しい	0.01	1
農村	28.74	6	つくる	0.27	3			
農地	28.56	6	いく	0.02	3			
集落	20.63	6	暮らす	0.32	2			
豊か	3.01	5	増やす	0.12	2			
維持	2.21	5	住む	0.07	2			
社会	1.10	5	係わる	2.58	1			
移住者	11.44	3	図る	0.40	1			
基盤	4.07	3	つなぐ	0.28	1			
都市	1.93	3	引き出す	0.25	1			
移住	1.47	3	あふれる	0.24	1			
体制	1.31	3	かかわる	0.21	1			
施設	1.05	3	異なる	0.19	1			
交流	0.90	3	訪れる	0.16	1			

ワードクラウド分析

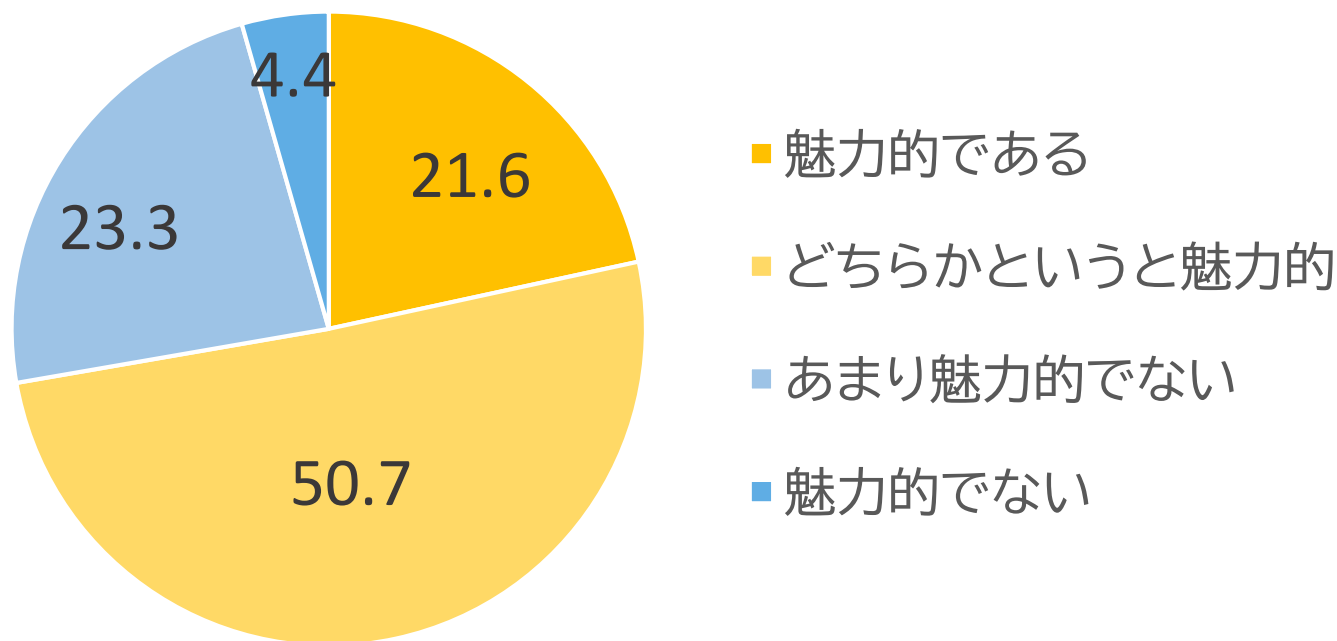


■ 名詞		スコア	出現頻度	■ 動詞		スコア	出現頻度	■ 形容詞		スコア	出現頻度
環境	🔍	4.42	14	できる	🔍	0.05	6	強い	🔍	0.02	2
琵琶湖	🔍	28.83	11	守る	🔍	0.25	3	しやすい	🔍	0.07	1
システム	🔍	4.40	11	進む	🔍	0.19	3	大きい	🔍	0.01	1
維持	🔍	1.45	4	いく	🔍	0.02	3	難しい	🔍	0.01	1
地域	🔍	0.93	4	引き継ぐ	🔍	0.93	2	ほしい	🔍	0.00	1
対応	🔍	0.28	4	含む	🔍	0.22	2	早い	🔍	0.00	1
気候変動	🔍	13.46	3	増やす	🔍	0.12	2				
農産物	🔍	12.54	3	誇れる	🔍	0.75	1				
取組	🔍	9.36	3	取り組む	🔍	0.28	1				
異常気象	🔍	7.55	3	かかわる	🔍	0.21	1				
品種	🔍	6.22	3	取り入れる	🔍	0.20	1				
農業	🔍	2.95	3	うける	🔍	0.09	1				
拡大	🔍	1.29	3	倒れる	🔍	0.03	1				
構築	🔍	1.11	3	含める	🔍	0.03	1				
生産	🔍	1.09	3	進める	🔍	0.03	1				

- I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画(骨子素案)」作成の経過について
- II 計画策定の考え方について
- III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査(抜粋)」について
- IV 現地意見交換会「ワードクラウド分析結果(抜粋)」について
- V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果(抜粋)について
- VI (仮)基本理念について

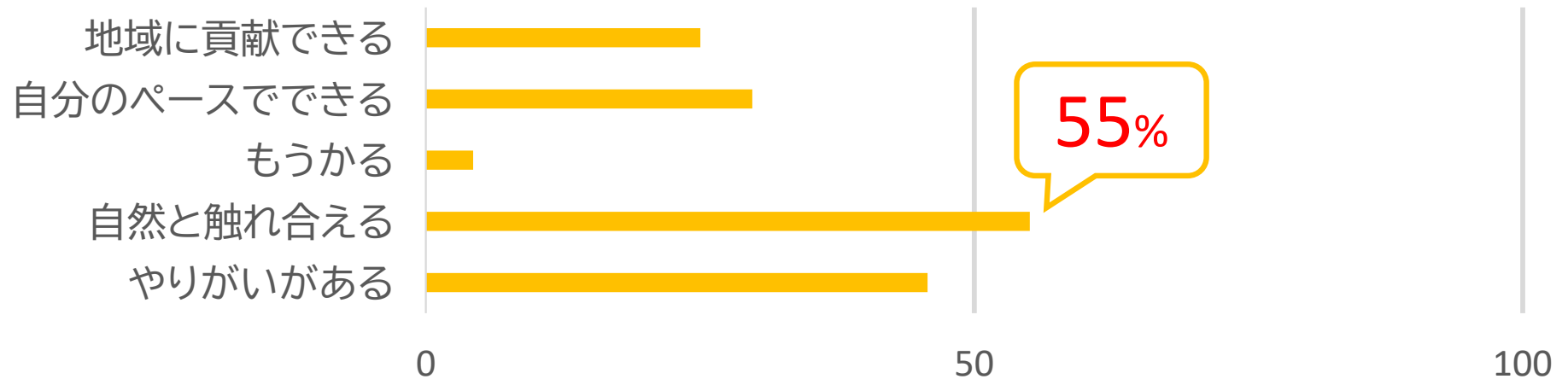
県立の農業系高校(4校)に通う高校生1,197名を対象に、職業としての農業に関するアンケート調査を実施した結果、995名(83.1%)から回答を得る

Q. 職業の選択肢として農業の魅力はどの程度ですか



農業に魅力を感じる生徒が72%を占める

Q. 農業が魅力的な理由は何ですか(複数選択) 719名



Q. 農業が魅力的でない理由は何ですか(複数選択) 276名



魅力的でない理由は農業の「きつい・大変なイメージ」

- I 次期「滋賀県農業・水産業基本計画(骨子素案)」作成の経過について
- II 計画策定の考え方について
- III 計画策定チーム会議「社会情勢の変化等の現状調査(抜粋)」について
- IV 現地意見交換会「ワードクラウド分析結果(抜粋)」について
- V 県立農業系高校生を対象としたアンケート調査結果(抜粋)について
- VI (仮)基本理念について

(仮) 基本理念

つながり、つづく、しがの農業・水産業



「生産者」どうしが協力し、
「生産者」と「流通・小売事業者」が、つながり
「流通・小売事業者」と「消費者」が、つながることで
本県農業・水産業が次世代へと引き継がれる。



世界農業遺産に認定された琵琶湖と共生する本県農業・水産業を次世代へ継承するためには、これまで以上に立場の異なる人々が協力し、つながることが重要であることから、「つながり、つづく、しがの農業・水産業」という基本理念を定め、施策を推進します。

(仮) 基本理念

つながり、つづく、しがの農業・水産業

地域別意見交換から



「つながり」に関わる言葉

○ワードクラウド分析 あるべき姿 **人**、**社会** での重要度が高いとされた用語
人 「増やす」、「支える」 **社会** 「関わる」、「かかわる」

○地域別意見交換からの意見（抜粋）

小規模から大規模農家まで支え合える環境づくり（大津・南部）

都市住民も交えた農業関係人口が増えている（大津・南部、湖東）

広域的な集落法人の（連携の）仕組みづくり（湖東）

農林水産業だけでなくすべての産業が手を携えていく（東近江）

食いたい人ー作ってくれる人のマッチングされ、継続できる（湖北）

「つづく」に関わる言葉

○ワードクラウド分析 あるべき姿 **経済**、**環境** での重要度が高いとされた用語
経済 「儲かる（経済的な持続性）」 **環境** 「引き継ぐ」

○地域別意見交換からの意見（抜粋）

個人経営の親から子への引継ぎ、経営者へのバトンタッチ（大津・南部）

次の世代にうまくバトンタッチ出来ている（甲賀）

従来からの農業・水産業が継承していける環境づくり（高島）